

市川市の平和への取組

核兵器廃絶平和都市宣言

市川市では、いかなる国の核兵器に対してもその廃絶と軍縮を訴え、世界の恒久平和確立のため、昭和59年11月15日に「核兵器廃絶平和都市宣言」を行っています。

平和首長会議

市川市は、平成21年(2009年)11月に核兵器廃絶平和都市を宣言して25周年の節目を契機に、平和首長会議に加盟しました。

概要

原爆により一瞬のうちに多くの命が失われた広島及び長崎の両市は、このような悲劇が二度と繰り返されてはならないと、一貫して世界に核兵器の廃絶を求め続けてきました。

1982年(昭和57年)6月、第2回国連軍縮特別総会において、当時の広島市長が世界の都市が国境を超えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開こうと提唱し、長崎市長とともに世界各国に呼びかけたことから活動が始まり、核兵器のない平和な世界の実現を願い、この趣旨に賛同する世界各国の都市で構成された団体です。

主な活動内容

平和首長会議総会 4年に1回開催され、重要事項を議決・承認する。
直近の開催は、平成29年8月長崎県長崎市で開催。

国内加盟都市会議 令和元年度は、東京都国立市で開催。

2020ビジョン(2020年までの核兵器廃絶を目指す行動指針)

主な取り組み

国連、各国政府に対する要請

リーダー都市を中心とした地域グループによる活動の展開

青少年「平和と交流」支援事業



核兵器廃絶平和都市宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いである。

この普遍の願いにもかかわらず、核軍備の拡張は依然として行われており、人類は核戦争の脅威にさらされている。

わが国は、世界唯一の核被爆国として核兵器の恐ろしさ、被爆者の苦しみを世界の人々に訴え、再び広島、長崎の惨劇を絶対に繰り返させてはならない。

私たち市川市民は、生命の尊厳を深く認識し、国是である非核三原則が完全に実施されることを願い、いかなる国のいかなる核兵器に対してもその廃絶と軍縮を訴え、恒久平和確立のため、ここに「核兵器廃絶平和都市」となることを宣言する。

昭和59年11月15日
市川市

核兵器廃絶平和都市宣言



平和市長会議
Mayors for Peace

加盟認定証

市川市

平成21年(2009年)10月26日付けで申請のありました標記について、貴市を平和市長会議の加盟都市として認定いたします。私たち人類が、広島・長崎の被爆の悲劇を二度と繰り返すことのないよう、そして、市民一人ひとりが平和で安全な環境の下、幸せな生活を営むことができるよう、世界各国の都市と力を合わせて、核兵器のない平和な世界の実現に取り組んでいただくことを期待しています。

平成21年(2009年)11月2日

平和市長会議会長 秋葉 忠利
(広島市長)



加盟認定証